

## 「南砺・令和の教育改革」地域説明会 質疑応答一覧（全会場まとめ）

### 1. 「なんとハグ」に関する事項

	質 問	回 答
1	アカウント登録できる場所が福野か福光しかないので、行きやすい場所があれば、アカウント登録のハードルが下がると思います。(利賀地域)	利賀ささゆり保育園、平みどり保育園、上平保育園を通じてアカウント登録が出来るように準備を進めています。保育園を通じて登録していただきたい。

### 2. 「将来の学校のあり方」に関する事項

	質 問	回 答
1	アンケートを取られたらどうですか。部活動のあり方については、QRコードで動画を付けてアンケートを取っておられますが、学校のあり方に関してもしのようにされたら良いのではないのでしょうか。(福光地域(福光中学校区))	アンケートを取るという事は大事なことだと思っています。アンケートを取るとしても、私たちの説明を聞いていただいたうえで、ご意見をいただきたいという思いがありますので、今は会場に来られた方や説明をお聞きになられた方のアンケートやご意見を伺っている状況です。一定の説明を聞いていただいた上でのアンケートの方が、具体的な意見が出されると思っています。関係者全員にアンケートを取るということになると、制度設計から行う必要がありますので、今のところは考えていません。
2	まずアンケートを取って市全体の方の思いを共有してからスタートすべきであると思います。8つの地域に小中一貫校として学校を残しますというアンケートにすれば、いいと思います。(福光地域(福光中学校区))	貴重なご意見として検討させていただきます。
3	令和15年までの生徒数を説明されましたが、小中一貫校を市内全てに設置しなければいけない理由がいま一つ分からないので、地域差もありますし、5年毎の検討ではなく、もう少し短い期間で実施してほしいと思いますし、地域に合わせた見直しも考えてほしいと思います。小中一貫校を進めていっても、将来、各地域に学校を残すことが難しくなる日もそれほど遅くないと思います。私は、中学校はいつか1校に統合する日が来ると思います。中学校教育	学校のあり方のことについては、一つの方向性ということで皆様にお示ししていますが、ずっと安心してこのまま大丈夫というふうに考えているものではありませんので、今後も、地域の方や保護者の方のご意見をお聞きしながら、将来、地域に学校を残さずに中学校を統合する方向に変更することもあるかもしれませんので、ご意見を聞かせていただきたいと思います。

	<p>としては、集団の中で切磋琢磨するという意味では、ある程度の規模が必要だと思いますし、合併して南砺市になったのだから、南砺市という地域の学校として特徴を出すということもあるのではないかと思います。統合するには10年から15年かかると説明されましたが、そういう事も見据えた説明をしていただかないと、小中一貫校にして、部活動を拠点校にすると「しのげるよ」と言われているようで、将来の展望を含めて説明していただけると、もっと聞きやすいのかという気がしました。(福光地域(福光中学校区))</p>	
4	<p>小中一貫教育の最終的な形として義務教育学校にする方向性を説明され、チーム担任制にすることで固定した人間関係を作らないようにすると説明されました。9年間ずっと同じメンバーで進級するのは、まさに固定化することではないでしょうか。</p> <p>私は、小中学校を全て義務教育学校化するよりも、例えば、中学校4つと小学校8つにするとか、中学校2つにして小学校4つにするなど、全部をまとめるのではなく、もう少しくりを大きくすることで、小学校から中学校が全部同じ児童生徒がずっと一緒に進級することのマイナス面をカバーできると思います。</p> <p>小学校から中学校への進級時に人数が増えて環境が変わることも大きなプラス要因になるのではないかと考えています。その辺はどう検討されたのでしょうか。(福光地域(吉江中学校区))</p>	<p>義務教育学校の方向性の提言は、学校のあり方検討委員会で検討した結果となります。概ね5年毎にその時の子供の人数や減り方など問題点を洗い出しながら見直しを行います。基本的には保護者が決めていく事になると思います。各地域の保護者が決め、地域の同意が得られれば統合もあると思っています。何年後に小学校を4つ、中学校を2つにしますという事では、一貫した教育はできません。</p> <p>今の環境はとても良い環境です。これを地域と一体になりながら、しっかり地に足をつけた教育をしていくことが一番大事であると思っています。今は一貫した教育を進めていくことが子供にとって一番良い教育になると考えています。</p>
5	<p>統合せずに現在の中学校区で小中一貫校にして行くという方向性では、子供の数が減ってしまい、これを5年毎の検討委員会で再検討するという事は、間に合わないのではないのでしょうか。子供は大きくなると、広い人間関係や大人数の中に入っていきと思っていますが、小さい集団の中で9年間囲い込んでしまうように育て、高校生になった時に、いきなり大きい集団に投げ込まれるという体験することを子供は気が付かないのではないのでしょうか。南砺市の子供たちには、大きくなるにつれて、広い人間関係の中に出ていって、</p>	<p>概ね5年毎に学校のあり方検討委員会にて再検討するとしていますが、早急に検討しなければいけない場合は再検討を行います。基本は部活動のために統合しようとは思っていませんが、子供にとって統合がいいという事になり、PTAの意見に地域の方の同意が得られれば、市の方針も変わってくると思います。親が幸せにならない事は、子供の幸せにもならないと思っています。</p>

	<p>色々な体験をして羽ばたいていき、また南砺市に帰ってきたいと思う子供に育ててほしいと思います。</p> <p>子供たちの充実した育ちを考えると、5年に1回ではなく、いつも検討委員会を開きながら方向転換するという事も辞さないという教育観であっていただきたいと思います。(福光地域 (福光中学校区))</p>	
6	<p>義務教育学校について、井口地域で最初に開校されましたが、各地域で行われるのですか。</p> <p>義務教育学校と小学校、中学校に分かれる地域もあるということですか。(城端地域)</p>	<p>井口地域でスタートしましたが、全ての小学校、中学校を義務教育学校とすると決めたわけではありません。各地域の要望が高まり理解が得られれば、義務教育学校に移行していくという方向性となっています。</p> <p>小学校、中学校に分かれたほうが地域の方や保護者の方がいいという判断となれば、地域の良さを活かして継続していくということもあると思います。</p>
7	<p>城端中学校の生徒が令和15年度には半減するという事を考えると、学校のあり方の説明にある令和27年度に8校にするというのは、遅いのではないかと思います。令和27年度に8校とするのは、どこの学校が残るのでしょうか。また、福光地域の吉江中学校と福光中学校はどうなるのでしょうか。(福光地域 (福光中学校区))</p>	<p>子供の数の推移からみると、言われることは分かりますが、色々な立場の方々からのご意見を伺いながら進めていきたいと思っています。</p> <p>令和27年度に8校というのは、現在の中学校区に小中一貫校を設置するという事です。福光地域は、福光中学校区に1つと吉江中学校区に1つ、平・上平地域では既に1つの中学校となっていますので、平・上平地域で1つの小中一貫校(義務教育学校)を設置するという事になります。また、福光地域については、小学校3校を統合して1つの小学校、吉江中学校と福光中学校を統合して1つの中学校とするという事を保護者や地域の方が望まれて、色々な条件がクリアできれば、そういう方法も選択肢の1つとしてあるという事をお示ししています。</p>
8	<p>今の改革をされても、少子化は進んでいきます。自分の子供が親となる時は、どうなっているのか不安で、8校と言っているが、おそらく20年後や30年後には無くなってしまわないかと思っています。それを踏まえて、少子化を止めるという事が一番良いと思うのですが、今後の少子化対策というものを教えてください。(福光地域 (福光中学校区))</p>	<p>少子化対策については、市でも色々と工夫しています。学校教育の中での少子化対策については、人口減に対応するためには、その地域に人が住んでもらうという事になると思います。学校のない地域に人がUターンや移住していただけるのかという事を考えた時に、地域に学校があるという事は、一つの人口減対策と考える事ができます。私たちが、地域の方の力を借りて学校を存続させるということは、少子化対策としても意味があると思っています。</p>

### 3. 「チーム担任制」、「地域を基盤とした小中一貫教育」に関する事項

	質 問	回 答
1	<p>南砺つばき学舎の特認校制度は、令和5年4月に実施と明言されておられますが、特認校制度の論議の中で「検討が足りない、検討時間が少ない」という事で先延ばしとなったと理解しています。現在の進捗状況と校区がなくなることについてどのように考えているのか教えてほしい。(井口地域)</p>	<p>特認校制度によって、校区がなくなるという事は考えていません。地域の方に支えていただいて学校運営をしていくという基本的な考え方がありますので、校区はしっかりと残すことが大前提となります。</p> <p>特認校制度の導入については、2年後の令和5年度に向けて制度設計を行っています。部活動改革の中では令和6年度と説明していますが、場合によっては、拠点校化が正式にスタートしなくても、令和5年度から部活動のために校区を跨ぐ入学を認めることになるかもしれません。また、特認校制度が何か分からない方々も多くおられますので、8地域で説明させていただいて、皆様に理解を深めていただければと思います。</p>
2	<p>地域に歩いて通える学校を残したいとの説明であったが、拠点校化となると相反するように感じるが、どのように考えているのか。(井口地域)</p>	<p>自分の住んでいる校区が基本となります。その中で、多様な部活動を選択したいという児童生徒や、特色ある学校で学びたいという児童生徒のために、このような選択肢を残したということになります。</p>
3	<p>特認校制度は、自由に子供たちの思いを尊重していただけると考えると、良い制度だと思うが、移動手段が問題となってくると思います。スクールバスは難しいという事ならば、なんバスなど公共交通の利用を認めることや児童館の利用を中学校まで認めるなどの考えはあるのでしょうか。(井口地域)</p>	<p>なんバスが利用できないかというご意見は、多くいただいています。なんバスの用途は通学のためだけではありませんが、現在も利用は可能です。教育委員会からも利便性が高くなるようにダイヤ改正を要望していきたいと思います。児童館の利用の拡大については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
4	<p>中学生になると自転車による通学も可能かと思うが、市内では道路状況があまり安全とは言えない気がしている。道路状況を充実させて、安全性を上げることにより、選択の妨げが一つなくなるのではないかと思います。(井口地域)</p>	<p>子供だけではなく、市民の方の安全を守ることは、市の大事な仕事です。すべてを一度に整備するというわけにはいきませんが、担当部局に伝えさせていただきます。</p>
5	<p>義務教育学校とは、小中一貫教育を行う学校のことですか。この2つの言葉をどの様に理解すればいいのか教えてください。(井波地域)</p>	<p>小中一貫教育とは小学校と中学校の2つの学校が連携して、小学校1年生から中学校3年生までの学びを系統的に行っていくという事です。義務教育学校とは、小学校と中学校が1つの学校として新しく設置されるもので、小中一貫教育を行うという面では同じです。</p>

6	名称は、井波義務教育学校となるのですか。(井波地域)	小中一貫教育を実施するだけでは名称は変わりません。井波小学校と井波中学校で小中一貫教育を進めます。義務教育学校は新たな学校として設置する必要があります。
7	南砺つばき学舎は、1年生から英語の時間があるなど、地域で決めたという話でしたが、他校から転入する児童生徒は、授業についていけない等の問題が出てくるのではないのでしょうか。(井波地域)	<p>1年生からの英語が南砺つばき学舎に出来て、他の小学校に出来ないという事はありません。各教科には、それぞれの学年でしなければならない授業時間数が決まっています。しかし、それ以上の授業をすることについては、文部科学省は特に定めていません。学習指導要領に定められた授業時間数を確保しながら、地域と相談しながら進めていただければと思います。</p> <p>南砺つばき学舎に転入してきた児童生徒については、個別に対応しながら進めています。現在も多様な子供がいますので、個別に対応しながら学校運営を行っています。</p>
8	南砺つばき学舎で1年生から英語を学ばせることに共感した場合に、転入するときは、特認就学は可能になるのですか。(井波地域)	<p>南砺つばき学舎については、令和5年度から特認校制度を採用するために調整を行っています。ただし、それまでの間に他の学校についても特色のある学校教育を考えていただき、同じように特認校制度を開始できるよう検討しています。</p> <p>南砺つばき学舎へ転入するという一方通行ではなく、南砺つばき学舎からも転出できる双方向となります。南砺つばき学舎に認めると他の学校からすると不公平感が出てきますので、他の校区の皆様にも説明させていただき、同時に開始できるようにできればと思います。そのためには、もう少し説明をさせていただく時間が必要かと思います。</p>
9	平・上平地域で統合して平中学校ができた時、保護者の方々がどのような学校にするかを話し合われた時に、複式学級や小中一貫の校舎は嫌だという意見が出て、今の状況になったと記憶しています。チーム担任制を見ると大きな複式学級に見えてしまいます。あらかじめ地域の実情を考えて説明しないと理解を得られにくいと思います。(平・上平地域)	<p>チーム担任制と複式学級とは全く別のものです。学習指導要領では、学年ごとの各教科のねらいがあります。国語や算数、社会、理科は、1年間でのねらいがありますので、学年ごとに学年のねらいで学級ごとに実施します。</p> <p>それに対して、音楽や図工等のねらいは、2年間で実施する事になっています。その教科では、両学年の先生が2人で教え、主務となる先生はその教科が得意な先生が教えることで、質の高い授業が実施できるというものです。</p>

10	<p>部活動の選択を理由に校区外へ入学する特認就学が可能になると説明をいただきましたが、小中一貫校の説明の中でも学校を選択できる特認校化という言葉が出てきました。部活動の拠点校化による特認就学とは別に、小中一貫教育が進み、他の特色ある学校や義務教育学校に入学したい場合は、特認就学を認めるという事でよろしいのでしょうか。(平・上平地域)</p>	<p>部活動が理由ではない子供にも、その学校の特色を見て、今まではその学校に住所がなければ入学できなかったものが、住所を移さなくても入学する事が出来ます。あわせて、部活動を理由に他の校区に入学することも認めていく事になります。しかしながら、これはどちらの面からも学校を選択できるようにしたいという案の段階であり、まだ決定事項ではありません。</p>
11	<p>特認校制度により1人でも多く利賀地域に来てくれるとうれしいと思っておりますが、利賀地域の場合は保護者の方が送迎しづらい場所という事を考えると、特認校制度により利賀に子供たちが来ることはかなり難しいと思います。スクールバスに限らず、なんバス等で行き帰り出来るような制度もあれば有難いと思います。(利賀地域)</p>	<p>通学の件につきましては、それぞれの学校区で色々な希望があり、自分の居住地以外の校区に行かれる場合は、色々な行先が出てきます。利賀地域に通学したいという子供がおられた場合は、例えばなんバスを利用させていただき事で、一定の距離以上の通学費については、通学費補助として定期代を市教委から全額助成していますので、なんバスを利用させていただきという方法もあると思います。</p>
12	<p>南砺つばき学舎では特色のある教育として、自学の時間などを作られており、井口地域以外の保護者から南砺つばき学舎に通わせたいと思っている保護者の声も聞きますが、今後、小中一貫校を進めていくにあたって、特色のある学校をどのように作っていかれるのか教えてください。</p> <p>また、南砺つばき学舎では6限を廃止して1日の在校時間を8時間にしていくという説明でしたが、8時15分から始業を開始したとして、在校時間を8時間とすると16時になると思います。他の学校の時限運行だと、大体6限まで終えて16時下校となると思うのですが、1限から5限のスケジュールはどうなっているのか教えてください。(利賀地域)</p>	<p>学校の特色は、地域との連携、地域の方々からご協力をいただける内容等を踏まえて、学校の先生方が考えていく事になります。また、学校と地域で組織される学校評議員会の中でも検討していただく事になると思います。利賀地域では、十分に素地ができていますので、特色ある学校作りを地域の皆さんのお力を借りて進めていけると思っています。</p> <p>南砺つばき学舎の時間運行については、朝の会が8時10分開始、基準となる5限の終了が14時25分です。その後に帰りの会を行い、後期課程の中学校にあたる子供については部活動、前期課程の小学校にあたる子供は帰宅、または自学の時間があります。自学の時間は学校裁量の時間となっております。終了後に下校という形となります。なお、部活動終了は16時35分となっております。</p>

#### 4. 「中学校部活動の拠点校化」に関する事項

##### (1) 実施スケジュール等に関すること

	質 問	回 答
1	スポーツをするために他の学校への転入は、今すぐ可能でしょうか。(福光地域 (吉江中学校区))	現在の制度ではできません。
2	スポーツをするために他の学校への転入は、いつから可能となりますか。(福光地域 (吉江中学校区))	部活動を理由とする特認就学は令和6年度からの本格実施を目標としています。南砺つばき学舎の説明の中では令和5年度からの特認就学を認めると説明しました。南砺つばき学舎だけではなく、市内全ての学校で特認就学を認めるという方向で今後調整をしていきたいと思っています。早ければ令和5年度からという予定で考えていますが、まだ決定はしていません。
3	拠点校化のスケジュールを教えてください。(井口地域)	最短のスケジュールでは、今年度中に拠点校の配置を決め、来年度から部活動数を絞って令和6年度に完全実施できればと考えています。
4	部活動に関して、どこの学校に行けばどの部活動があつて、どのような指導者がいるのかということが分からないので、今後、拠点校化となった場合に具体的に示していただきたい。(井口地域)	拠点校化の完全実施は令和6年度としていますので、その校区にどのような部活動環境があるのかを周知するための移行期間を令和4、5年度の2年間とし、その移行期間の中で、情報を提供したいと思います。目標に向けて、競技団体と協議をしていきたいと思っています。
5	どの学校に何部が残って、何部が廃止されるという事はいつ頃に決定しますか。(福光地域 (福光中学校区))	地域説明会を各地域で終えた後に、各指導者団体などと協議をしていきます。目標としては、今年中にお示しできればと進めています。
6	拠点校化の移行期間と実施はいつ頃になるのでしょうか。(井波地域)	現在のところ、目標として今年度中に拠点校化する部活動を決め、来年度から移行期間に入り、令和6年度から完全実施することを目標として協議を進めています。教育委員会や学校だけでは部活動の拠点校化を進める事は出来ません。指導していただける方、競技団体の皆様にご説明しながら、意見を伺っていく事になります。状況によっては、少しずつ遅れることもあると思っています。
7	拠点校化へのスケジュールが分かりにくかったので、お聞かせください。	現段階での計画としては、今年度中に拠点となる部活動を示し、令和4年

	(城端地域)	度、5年度を移行期間として令和6年度からの完全実施を目標としています。ただし、今後の地域説明会のご意見や競技団体との協議等の進み具合によっては、遅れていく可能性もあります。現在、地域指導者の方がどの地域にどれ程おられて、指導していただけるかという事を調査しています。その後、競技団体と協議をさせていただきながら、どの学校に何部を設置できるかなど具体的な事を考えていく事になります。
8	実施されるとすれば、いつ頃に決定して、いつから実施されるのか教えてください。(福野地域)	スケジュールについては、令和4年、5年度を移行期間として、令和6年度からの実施を考えていますが、まとまらない限り遅れていく可能性があります。

(2) 指導体制について

	質 問	回 答
9	部活動の時間は放課後に行うイメージが強いが、地域で色々なスキルを持った指導者が仕事などで指導が出来ないことなどが起こるのではないかと思う。指導者の都合で夜の活動となると、生徒は大丈夫なのか。など、色々考えなくてはいけない点があると思う。(井口地域)	部活動指導については、文部科学省から地域へ移行していく方針が出されています。教員が部活動を指導できるのは、概ね16時45分までとなっていますので、これからは部活動を指導していくのは、地域の指導者が中心となります。市全体で見れば、充実した指導者の方がおられますので、体育協会等の方々と調整して指導体制を作っていく事が、今回ご説明した案となります。
10	指導者は、地域の方に協力していただく上で、全てがボランティアとはならないと思うが、安全面の保障や指導料金の面はどうなっているのか。また、生徒の移動の手段についてどう考えているのか。教育の一環として部活動を行うのであれば、拠点校化によって認められた特認校への移動については、明確な基準を示すべきだと思う。(井口地域)	地域指導者等への保障については、ボランティアという事はなく、保険も含めて何らかの手当もしくは報償費は必要になると思っています。 生徒の移動に関しては、現在も他地域のクラブチームに通っておられる方は、ご自身の責任となっています。拠点校化して、地域を越えての通学についても、ご家庭の責任でお願いしたいと、今のところは考えています。
11	部活動がある前提での特認就学だけでなく、優れた指導者がいるから特認就学するというのもあると思います。指導者や先生が変わることによって、生徒の興味が薄れたりすることもあると思います。(福光地域(福光中学校区))	文部科学省が部活動の地域移行を示していますので、地域指導者が指導することが拠点校化の一つの判断材料となると思います。なお、教員が地域指導者として勤務時間外に指導することもできると地域移行の方針に記載されています。



12	指導可能な場所というのは中学校という理解でよろしかったのでしょうか。(城端地域)	中学校が中心となると思いますが、近隣の施設も利用しながらということも考えられると思います。
13	学校の先生の配置というのは、今後どうなるのですか。野球のできる先生は野球部がある学校へ配置するなど考えているのでしょうか。(城端地域)	教員の配置ですが、中学校は教科担任制を採用しており、教科担任が必要となりますので自由に配置できるかという事は、現時点ではお答えできませんが、拠点校化にあわせて出来るだけ配置について努力したいと思います。
14	指導者の協力体制を作るという説明で、自分の校区に指導者がいなくても指導ができるという事ですが、地域の指導者が集まりにくい学校についてはどうなりますか。(福野地域)	例えば、なぎなたを見ると福野に指導者が多くいます。福野を拠点校とすれば指導がし易くなります。別の場所を拠点校とするよりも、指導者が多くいる地域に拠点を設けるという事です。
15	吹奏楽の合奏が成り立たないという説明もありましたが、設置した部活動には、指導ができる教員が配置されるのですか。(福野地域)	学校には教科がありますので、部活動よりも教科を優先して配置していく事になりますが、できる限り指導経験のある教員を配置したいと考えています。
16	経験のない教員が顧問となっている事が多くあります。教員の指導する質を上げていただきたいと思います。(福野地域)	現在は、拠点校という事ではありませんので、優先的にそのような事はしていませんが、ある程度は考慮して配置しています。

### (3) クラブチーム (中体連) について

	質 問	回 答
17	チームスポーツが問題となっているが、個人スポーツでは、地域のクラブに夜に練習に行くことは、部活動として認めてもらうことで、学校を変えずに部活動として活動できるのではないか。学校では、部活動の指導は美術部などの文化部だけとして、スポーツの方は地域のクラブチームの指導を受けていくという事も考えられると思う。(井口地域)	現在もクラブチームで活動していることが確認できれば、部活動として認めることにしています。
18	クラブチームの活動は部活動として認めるというお話だったが、クラブチームに入っている生徒は、現状は中体連の大会に出ることは出来ないのか。部活動改革を進めていくのならば、中体連の大会にも出場できるように働きかけを行ってほしい。(井口地域)	現在の規則では、クラブチームで活動している生徒が中体連の大会に出る場合、その中学校に部活動として存在するか、学校が特設部活動として活動を認める場合に出場することができます。クラブチームとして活動して、自分の学校にはその部活動がない場合は、中体連の大会には出場はできません。中体連ではなく、その協会や団体の大会には出場できます。現在も要望はしていま

		すが、全国的な組織なので、なかなか認めてもらえない状況です。
19	南砺市以外の地域との連携や南砺市以外のクラブチームとの連携は考えていないのでしょうか。例えば、井波地域のサッカースポーツ少年団に砺波市の子供が入っています。中学校になると砺波市のサッカー部やクラブチームに行かれますので他の地域やクラブチームとの連携について教えてください。 (井波地域)	部活動に必ず入らなくてはいけないという事はありませんので、多様なクラブチームに入って、一生懸命頑張っただけであればと思います。クラブチームなどで活動する生徒については、部活動の代替えとして認めています。
20	地域へ移行を進めていくという事ですが、どちらかという、部活動ではなく、クラブという形に変わっていく感じだと思います。そうすると、拠点校化して部活動のある学校へ行くよりも、クラブを主体として設置し、夕方に活動する方が現実的だと思います。中体連の存在は市としてどうする事もできないと思われませんが、変わっていく可能性もあると思います。(城端地域)	文科省からの地域移行の手引きや資料では読み取れない部分です。その部分も含めて整理していきたいと思います。中体連については別組織ですから、市教委で決められることではありませんが、クラブの子供たちも試合に出られるように要望を行っています。
21	部活動の拠点校化について、個人競技で既にクラブチームに所属しており、中体連の大会には中学校として登録して出場している場合で、拠点校化により自分の通う中学校にその部活動がない場合は、部活動がある中学校に行かなければならないのですか。(平・上平地域)	現在は学校で特設部としている部分だと思いますが、可能な限りは特設部として対応できると思っています。

(4) 制度に対する疑問・提案等について

	質 問	回 答
22	生徒たちのスポーツに対する関心は、教育と平等にあると思います。部活動を拠点校化しても行きたくないというのは、友達と離れたくないという思いからだと思います。しかし、何もしなければ、部活動が廃れてしまい、部活動も低迷化してしまいます。 そこで、夏休みを少なくするのではなく、現状を維持し、長期休業を利用して、合同部活動にしてはどうかと思います。そうすれば保護者の送迎の負担も少なくなると思いますし、時間的にも有効に使えるのではないかと思います。放課後の短い時間ではなく、休業中に長い時間を利用すると効率がいいと思	部活動の改革につきましては、現在も中学校部活動のあり方検討委員会で検討中ですので、そのような意見があったという事を検討委員会に報告させていただいて、検討材料の一つとさせていただきたいと思います。

	いますので提案します。(井口地域)	
1	地域に歩いて通える学校を残したいとの説明であったが、拠点校化となると相反するのように感じるが、どのように考えているのか。(井口地域)	自分の住んでいる校区が基本となります。その中で、多様な部活動を選択したいという児童生徒や、特色ある学校で学びたいという児童生徒のために、このような選択肢を残したということになります。
23	部活動の拠点校化により、部活動のために校区外の学校に通うときは、親が3年間送迎をしなくては行けないのか。(福光地域(福光中学校区))	自分の校区外の学校へ入学するのであれば、通学に関しては、ご家庭で責任を持って送迎していただくということを考えています。
24	特認就学ではなく、部活動の時間だけその学校に行くことは出来ないのでしょうか。(福光地域(福光中学校区))	南砺市は市域が広く、部活動の時間に移動するとすると、福光地域の2つの中学校以外は移動に15分から20分はかかり、往復となると部活動の時間の多くが削られてしまうことや、安全面や各中学校にバスを走らせることを考えると、現在は難しいと考えています。
25	拠点校化に関しては、大体の方が放課後の時間に部活動のある学校に移動すると解釈している方が多く、それなら賛成という方が多いです。逆に学校毎になるという話をすると、「それはないよね」という方が多くて、スクールバスを出すという話になると、「そもそもバスを出すほどの人数にならないね」、「タクシーでも対応できる」と言われます。親が送迎する前提で自己責任というパターンもあると思いますが、提案されている形は結構難しいと思います。(井波地域)	中学校間の移動には、15分から20分かかり、往復ではその倍の時間がかかるため、実質の部活動時間が無くなる事になります。充実した部活動を継続していくという形で、今回、拠点校化についてご説明させていただきました。今年度、国の事業を活用して、放課後に規模の小さい部活動同士で合同部活動を行い、タクシーで移動して一緒に練習していただいています。その中でどのような問題点があるのかなどを検証しながら、拠点校化についての検討の参考にしていきたいと考えています。
26	スポーツが苦手な子供の事も考えてほしいと思います。子供の中には、スポーツはしたいけど、そんなに強いところに入るには不安がある子供もいますので、そのような子供たちが入れるような選択肢も検討してほしいです。(井波地域)	中学校部活動のあり方検討委員会の中でも強さを求めるスポーツだけではなく、程よくスポーツができるような部活動についての設置についての意見がありましたので、設置の種類も含めて協議させていただきたいと思います。
27	拠点校化について、学校に自分のやりたい種目がなく、例えば、井波と福野に2校にあった部を1つに絞った場合、福野は火・木曜日、井波は土曜日にし	練習環境を整えるという意味で、ご意見を参考にさせていただいて、中学校部活動のあり方検討委員会に報告し、協議させていただきたいと思います。

	<p>て、練習時間は夕方です。送迎は保護者が行き、指導は地域の指導者で行う。スポーツ少年団の練習と一緒に指導する事も出来るのかと思う。</p> <p>学校の統合が出来ないという事であれば、部活動を統合して、夜にクラブチームという形で練習し、学校の先生は顧問をして、当該の大会には出てもらうこともあるのではないかと思います。</p> <p>部活動の選択肢を削るのではなく、地域で受け皿を作ってあげられるようにする事もあると思いますので、検討をお願いします。(城端地域)</p>	
28	<p>私の子供は、金沢市のサッカークラブチームに所属していますが、一番大変なのは送迎です。部活動に置き換えてみると、特認就学については、保護者の送迎が大変だと思いますので、特認就学はあまりいい選択ではありません。部活を選択するために学校を変わるのには考えにくいと思いますが、部活動だけを別の学校で行うことなら、クラブチームの活動と変わらないので、親としても協力できそうかと思います。</p> <p>小中一貫校にしても部活動にしても、環境が大きく変わるようなことは望まないと考えます。少子化が進んでいることありますが、もう少し時間をかけて検討して欲しいと思います。また、保護者の方の考えもしっかり聞いてほしいと思います。(城端地域)</p>	<p>貴重なご意見を中学校部活動のあり方検討委員会に報告させていただき、協議させていただきたいと思っています。</p> <p>学校教育の中での部活動のねらいを意識しながら、決めていく事になるかと思っています。生活環境が変わることについては、大変な事かと思っています。しかし、子供の数の説明をいたしました。このまま何もしなければ、ゆるやかに生活環境が大きく変わるということも確認していただけたと思います。この状況を何とかしなければならないという事で、今回ご説明してご意見を伺っております。</p>
29	<p>特認就学して、子供が部活動を辞めた場合はどうなるのですか。(福野地域)</p>	<p>本来の校区がありますので、戻ることも可能ですし、その学校に残り、他の部活動に入ることも可能です。</p>
30	<p>設置する部活動の種類は、各競技団体との協議で設置していくという説明ですが、拠点校化した部活動に入る生徒が少なくて活動できない場合はどうなるのですか。その部活動は無くなるということですか。また、少ない場合の設置の有無は誰が判断するのですか。(福野地域)</p>	<p>生徒数も限られていますので、充実する部活動となるように各学校に適した配置もあわせて考えていかなければならないと考えています。</p> <p>部活動無くすことは、学校だけでは判断できません。指導される競技団体、学校、教育委員会が協議して設置ができないという事になれば、できる学校に配置することも考えられます。子供がいない場合は、指導者の方がこの学校で指導したくても、その部活動は設置できないという事も考えられます。</p> <p>想定できる問題点を整理して決めていくという事になりますが、指導者の</p>

		方の協力が一番大切になりますので、競技団体等と相談させていただきたいと思っています。
31	小学校で活動していたものが、中学校の部活動には無かった場合は、あきらめるか、部活動のある学校に転校するかという事ですか。(福野地域)	どうしてもその部活動をやりたいという場合は、設置されている学校を選択するという事になります。
32	拠点校化すると部活動数が減るという認識でよろしいのでしょうか。 人数と指導者の関係が解決すれば、数が減らないという事があるという事ですか。(福野地域)	部活動の数という事を考えると、生徒数や指導者の関係に応じた部活動数になることから減るという事になります。 人数と指導者の関係が合致すれば、減らないという事になります。設定できる数を配置していくという事になります。
33	拠点化した部活動に入りにくい生徒が入る簡単な部活動の設置について、どのような考えなのか教えてください。(福野地域)	スポーツや文化を楽しみたい、親しみたいという生徒もいますので、それに対応できる受け皿としての部活動も考えていく必要があると思っています。
34	スクールバスの運行は出来ないと説明されましたが、例えば、上平地域の子供たちが10人くらい特認就学しても、保護者の方で送迎となるのでしょうか。(平・上平地域)	特認就学として校区外へ入学する場合は、保護者の方のお力が必要となります。ただし、公共交通機関を利用して通学する場合は、現在も通学費補助がありますので、補助を利用していただく事も可能です。
35	例えば、バレーボール部が2校に配置された場合、通常に通うべき校区にあるバレーボール部がある中学校から別の校区のバレーボール部がある中学校に入学することは可能でしょうか。(平・上平地域)	現在、そこまでの事を考えておりません。地元の校区に希望する部活動があれば、その学校に行っていただきたいと思いますが、色々な考えの方がおられますので、今後協議させていただきます。
36	拠点校化となると、誰が各中学校の部活動の配置を決めるのか教えてください。(平・上平地域)	教育委員会と学校で決められる話ではありません。予定としては、地域説明会の実施後、各競技団体の方々と意見交換をいたします。競技団体の方でどのくらい担えるか、拠点校化した場合の設置の可否について検討していくことになります。設置ができないという事になれば、教員が時間内で行う文芸部やマルチスポーツ部などに変わっていく事になることも考えられます。この後、競技団体の方々との意見交換で、協力をお願いしたいと思っています。
37	部活動の拠点校化における特認就学について、認められる基準というものはありますか。(利賀地域)	基本的には、子供が望めば転入学を認めていく事になりますが、大きな動きがあり、それぞれの学校のクラス編成などに影響が出ることも想定されますので、細かい基準作りはこれから制度設計をしていきたいと思っています。

(5) 意見聴取（アンケート等）について

	質 問	回 答
38	<p>井波文化センターにおいて部活動の拠点校化の説明会が5月にありました。その時のアンケートは、保護者の生の声だと思います。その結果は、公表されますか。(福光地域(福光中学校区))</p>	<p>アンケート結果は、9月頃に開催する予定の中学校部活動のあり方検討委員会で報告したいと考えています。会議は公開ですので、検討委員会に資料として提出するという事は、その時点で内容が開示されることとなりますが、保護者の方や市民の方にもアンケート結果をお知らせできるよう工夫していきたいと思っています。</p>
39	<p>5月の説明会後のアンケート結果は、なぜこの資料に載せていないのですか。(福光地域(福光中学校区))</p>	<p>5月の説明会後のアンケート結果はすでにまとめてあります。この地域説明会には、必要ないと判断しましたので、資料として載せてありません。</p>
40	<p>各学校の保護者に「どこの学校までなら送迎ができますか」などのアンケートをとり、その結果から、将来的な統合に向けても、保護者や地域の方の感覚や意見をくむなどしてほしいです。アンケートについては、数の論理ではなく、アンケートの結果をもって、広く納得をお願いする形にすればいいのではないのでしょうか。</p> <p>地域から学校がなくなると若い人達が返ってこないという事を考えがちですが、その考えにしがみついてしまうと、今度は南砺市に住みづらい、子供を育てづらいという事になってしまいます。そういう部分は、大きい視野から見て物事をいう立場の方がする役目だと思います。市の方からも地域の方々に広く、現状についての資料を配られたらいいと思います。(福光地域(福光中学校区))</p>	<p>アンケートを実施する場合は、児童生徒数などの規模が大きい学校と小さい学校があることから、数で決めることは危険だと考えています。また、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>
41	<p>部活動のあり方について、拠点校化がいいのか、悪いのか今の段階では判断できませんが、一つお願いしたい事は、子供たちの声に耳を傾けていただきたいと思っています。もう少し広く、市内の子供たちにアンケートを取っていただきたいと思っています。拠点校化の周知になると思いますし、家庭で親が子供に「どう思う」などと聞いてもらう事が、子供たちに寄り添う姿かなと思いますので、もう少し子供たちの意見に耳を傾けてほしいです。(井波地域)</p>	<p>夏休み中に各校の児童生徒の代表に集まっていただき、意見を聞く機会を設ける予定となっています。</p>

42	拠点校化について、実際に学校を変わってまで部活動を選択する子供の数は分かっていますか。例えば、小学5、6年生にそのようなアンケートを取られたのでしょうか。(城端地域)	これから中学生になる子供に対して、そのようなアンケートの実施はしていません。
43	今日この説明会に来ておられる方は、興味のある方々です。しかし、福野地域には多くの子供や保護者がいます。この説明の対象となるのは子供たちです。子供たちの考えや思いを捉えて改革を進めてほしいと思います。子供たちに簡単なアンケートを取るなどデータを集めて進めてほしいと思います。(福野地域)	今までの地域説明会の中でも、子供たちの意見を聴くことやアンケートを取ってほしいなどのご意見がありました。アンケートを取る際は、この説明を少しでも理解していただいてアンケートを取る事が必要だと思っています。今後、アンケートの実施について検討させていただきます。
44	生徒代表との意見交換については、生徒はどのように決められるのでしょうか。また、アンケートを取るならば、1人1台のタブレット端末が整備されましたので、活用されてはどうでしょうか。アンケートには記述式の設問も入れていただくと有難いです。(福野地域)	全ての児童生徒を集めて意見を聞くというのは難しいので、生徒代表とさせていただきます。8月に意見交換を予定しています。誰を選ぶのかは、これから各中学校と相談して決めていきたいと思っています。タブレット端末を利用したアンケートについては、実施する際には生徒の気持ちが素直に分かるような内容にすることを考えていきたいと思っています。
45	部活動の拠点校化について、中学校の生徒の意見を聞くと説明がありましたが、小学校の子供たちは直面する話だと思いますので、小学校の子供たちにも考えさせる機会を作ってほしいと思います。(利賀地域)	子供たちの意見を聞くことは大切なことだと思っています。小学生の意見を聞いてほしいという意見を今までの説明会の中でも聞いております。意見の聞き方については、アンケート等を含めてどのような形がいいのか、学校の校長先生にも相談した上で意見聴取の方法を考えていきたいと思っています。

(6) その他の意見、感想

	質 問	回 答
46	この改革は、例えば、野球を2つの学校に集約すると、その部活動に入る生徒が増えるだろうという考えだと思うが、野球部に生徒が入らなかった場合は、同じことになるのではないかと思う。そういう場合は、再度拠点校を変更するのか。指導者の方々は各地域におられるが、どれだけ協力を得られるかが重要だと思う。(井口地域)	指導していただく指導者も関係してくることから、教育委員会だけでは決めることはできません。地域説明会後に南砺市体育協会や各競技団体へ説明に伺い、どこまで協力をしていただけるかという事も協議していきながら、拠点校化について詰めていきたいと思っています。
47	家庭の事情で送迎が出来ない場合は、子供が望む部活動が自分の校区の学	部活動の選択肢が減ることは不平等ではないかという事ですが、例えば、井

	<p>校にない場合は、子供にあきらめてもらうということになり、それは偏ったやり方に感じます。(福光地域 (福光中学校区))</p>	<p>口や平などは、選択肢が1つか2つしかありません。学校のカリキュラムの中で、同じ活動をするという事と、違った活動をしながらも、ねらいに到達できる環境をつくるという事が基本だと思います。例えば、福光中や吉江中は子供の数に対しての部活動数はかなり多いです。子供が増えていると部活動数も増やせるのですが、子供が減っているのに減らすことが出来ない。それを適正な数にするという事が基本です。校区がなくなるという訳ではありませんので、その中で選択するという事が基本となります。</p>
48	<p>拠点校化について、南砺市の中で選択肢がどこかにあるという考えは、とてもいいと思いますが、具体的に示されていないので、皆さんが不安に思うのではないかと思います。また、南砺市内で1つは部活動があるということに落ち着くという風に聞こえたのですが、生徒たちの総意にマッチしているのか、指導者がカギと言われましたが、そこに生徒や保護者達から見た不公平感があるのではないかと思います (福光地域 (福光中学校区))。</p>	<p>今は拠点校化も含めて南砺市で進めている教育改革について、まずは方向性も含めて説明させていただく機会を持ちたいという段階での説明であります。部活動の事については、このあと体育協会や競技団体、指導者の方のご意見も伺った上で、中学校部活動のあり方検討委員会での議論を経て、改めて、皆様にご説明をしてご意見をいただく機会を作りたいと思っています。</p>
49	<p>不公平感をなくすのは難しいのですが、送迎などが出来ないという事を市の方でカバーする方法がないのかも一度検討していただき、うまくいかなかったとしても市民の方々に説明してお願いしなければならないこともあると思います。問題点が明らかになれば、今度は地域でどういう事ができるのかということになるのかと思います。また、本日出された意見にしっかり答えられるような説明をこれからもしてほしいと思います (福光地域 (福光中学校区))。</p>	<p>子供の送迎について、ご意見やご要望、お気持ちはその通りだと思います。どこまでできるかは分かりませんが、お約束はできません。この議論が始まった時からご意見として伺っている事ですので、どこまでできるか検討していきたいと思います。</p>
50	<p>南砺市では、協働のまちづくりということで、市民意識の向上を図っておられます。学校がどのように変わっていくにしても、その地域での住民との対話、合意が大事ではないかと思います。しかし、中学校部活動のあり方検討委員会のメンバーは大所高所的な人たちが集まって、まちづくりをしている方が参加していないことが心配になります。その点は大丈夫なのでしょうか。(井波地域)</p>	<p>中学校部活動のあり方検討委員会の構成については、一般的に協議をする際の適切な人数があると思っています。協働のまちづくりということで、市民の皆様からの意見を聞きながら進めていくことが基本となっています。そのような意味で、今日の説明の機会を設けさせていただいています。</p> <p>説明会は8地域において行いますが、足りなければ、また説明会を開催していく事になります。いただいた意見を中学校部活動のあり方検討委員会に上</p>



		げさせていただくという形で、市民の方のご意見を少しでも検討に反映させていくことができればと思っています。
51	今、まちづくりの方で改革が進んでおり、各地域で色々な問題に対して自主的にやろうとしておりますので、ぜひ、そういう人たちと綿密にしてほしいと思います。(井波地域)	まちづくりを進めている方々からも良い意見がいただけると思っていますので、ぜひ、色々なご意見をいただきたいと思います。
52	部活動は学校における評価の対象となっていると思っていましたが、部活動に入ることによる評価というのはあるのでしょうか。(井波地域)	部活動にA、B、Cなどの評価を行う事はありません。順位をつける等の評価を行うこともありません。
53	何をするにも改革には痛みを伴うものであると思います。この改革が子供たちの選択や家庭への痛みにつながるのではないかという印象を持つのですが、例えば、持続できない部活動を日中は学校で行い、夜に合同練習を行う練習体制は親としては取れそうかと思います。もう少し部活動の全体的、各地域の状況や現状を調べていただいて、解決策を見いだす努力があった方がいいのではと感じました。(井波地域)	地域移行については、各地域の指導者等の受け皿の関係から、教育委員会が部活動の場所などを決める事は難しいと考えています。逆に、指導者の数から1つの種目・競技の部活動が多く为学校に残るかもしれません。 今後、競技団体や文化団体へ説明に行き、実態に応じて受け皿をお願いしながら、少しでも子供たちに良い環境を作ることが大事であると思っています。
54	普通の会社などでは、勤務時間が終わったら、パートさんなどの違う方の力をお借りして延長分を補っていますので、部活動ではないところでOBの方や地域の方の力をお借りすることもあると思います。 地域で体制を作るにも急に出来るものではありませんので、2、3年後を見て地域で受け皿を作ることや、若い人が指導に関われる体制など構築した上で、拠点校化案をお話しただけであればいいと思いますし、対話する時間がもっとあってもいいのではと思います。(井波地域)	参考にさせていただきたいと思います。中学校部活動のあり方検討委員会に伝えて、委員会の中でも色々な意見をいただけるようにしたいと思います。
55	部活動は、スポーツするだけではなく、社会に入っていく準備段階だと思えます。部活動で何が学べるかという事は、保護者達も理解しています。指導される地域指導者の方々などと考えていただいて、より良い部活動となるように検討していただきたいと思います。(城端地域)	部活動については教員だけでは限界があります。地域の方にどこまでご協力いただけるかという事について、競技団体の方に説明させていただきながら整理をして、できる範囲で行っていくという事になります。
56	部活動の拠点校化の方向性を中学校部活動のあり方検討委員会3回で決められたという事ですが、もう少し長くみても良かったのではないかという思	中学校部活動のあり方検討委員会の質問につきましては、検討委員会の協議を経て、現時点の1つの方向性として決めさせていただきました。今回、8

	いです。(福野地域)	中学校区において説明してご意見をお聞きし、その後に競技団体や生徒代表等からもご意見をお聞きして検討委員会を再開いたします。検討委員会における色々なご意見等から拠点校化についても変わる可能性もあります。
57	部活動を充実したいという事は分かりますが、人数が少なくても充実させることはできるのではないかと思います。どう思われますか。(福野地域)	部活動のねらいを達成するために人数の多い少ないは一概には言えませんが、それぞれの環境でねらいを達成するために進めていく事が目的となっています。現在の南砺市の状況からすると、ねらいを達成しにくい状況にあると考えていますので、この提案をさせていただきます。
58	個人種目での対応だと思いますが、本当に頑張りたいと思う子供たちが地元の選手として出場できる体制を考えて欲しいです。(平・上平地域)	大会に引率できる教員がいれば可能だと思います。
59	山間部の小中学校は何が変わるのかという感じがします。部活動指導の地域移行となるとマンパワーが必要ですが、平・上平・利賀地域には人口が少なく、指導者が確保できない場合は、文芸部などになるとの説明ですが、市の山間過疎振興計画にて山間部で子供を育てていくという事であれば、ビジョンというものが描けるような提示をいただくと良いと思います。別の視点での検討もいただければと思います。(平・上平地域)	本日は、8中学校区共通の説明という事で聞いていただきたいと思いましたが、地域の実情はその通りだと思います。部活動の拠点校化については、地域の方にも願いますとしても、地域の方にも限りがありますので、拠点校化を検討するにあたっての参考とさせていただきます、別の視点でも整理していきたいと思えます。
60	利賀地域ではバトミントン部しかありません。拠点校化により部活動を減らしていくと説明がありましたが、利賀地域では減らせません。また、マルチスポーツ部と言っても指導者がいるのかと思います。平中や井波中学校まで大体45分くらい片道かかりますので、制度が変わってもなかなか選択できないのではないかと思います。(利賀地域)	部活動の種類についてですが、その地域でどういう部ができるかという事は、地域の皆さんと十分に相談させていただきながら、部活動指導員についても確認しなければいけませんので、ご意見を聞かせていただければと思っています。
61	子供たちが希望する部活動が別の中学校にある場合に、保護者の方の送迎となると、子供と一緒に保護者も移住されるという懸念があります。今後チームが作れないという説明を聞きしましたが、あまり早急な結論を出さないように配慮して欲しいと思います。(利賀地域)	部活動改革については、教育委員会だけで決めていく話ではないと思っています。準備期間を含めてある程度の時間が必要であると思っています。8地域でいただいた意見を基に決めていきたいと思っています。8会場で色々な意見をいただきましたが、教育活動の一部に部活動があるという位置づけとして考えていますので、その点も踏まえて結論を出していく事になると思います。